

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】唐津市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
35	2009.5.29			佐賀県	唐津市	132,797	487.45k
構想の要約		水産加工団地で発生する加工残さの飼料化や燃料化に取組み、下水汚泥やし尿・浄化槽汚泥、家畜排せつ物からメタン発酵によるエネルギー回収を検討する。また、廃食用油の燃料化に取組み、生ごみの有効活用や森林資源活用事業の構築を進め、産業の活性化と循環型社会の形成を図る。					
構想に盛り込まれた事業		①水産加工団地バイオマスの利活用推進（動物性残渣・余剰汚泥点・廃食用油の利活用）②生ごみの利活用推進 ③廃食用油の利活用推進 ④下水汚泥の利活用推進 ⑤浄化槽汚泥、し尿からのエネルギー回収等の検討 ⑥家畜排せつ物からのエネルギー回収等の検討 ⑦木質バイオマスの利活用推進(建設廃材、過繁茂竹の利活用推進) ⑧松葉の利活用推進 ⑨エネルギー作物の栽培（菜種他）					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材	○		
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術					
マテリアル利用のための変換技術			エネルギー利用のための変換技術		
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○		バイオガス化(メタン発酵)		○
飼料化	○		直接燃焼		○
バイオマスプラスチック製造			ガス化		
その他(敷料)	○		炭化		
			固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)		○
			バイオディーゼル燃料化		○
			バイオエタノール化		
			その他()		

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

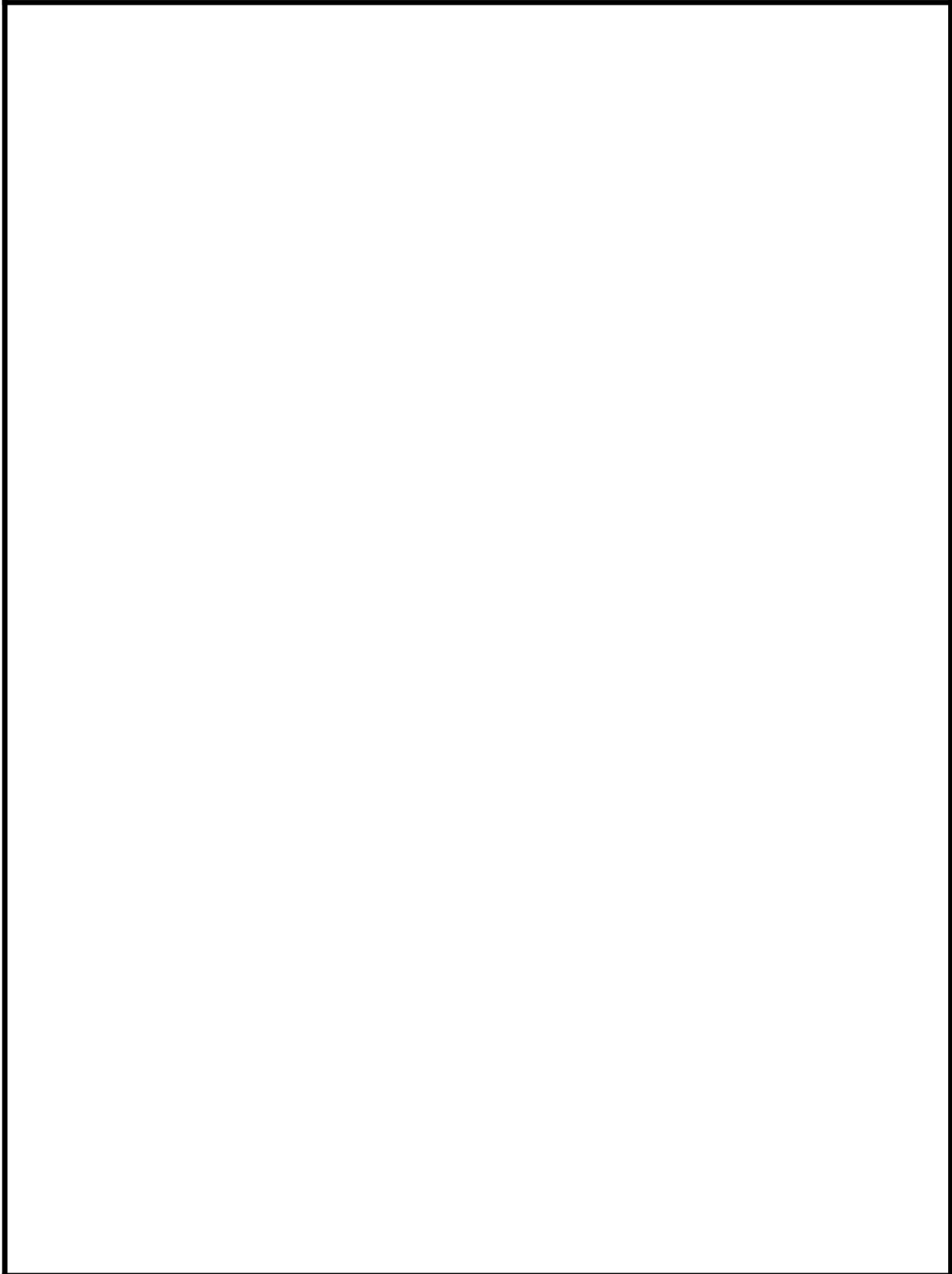
バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量 (t/年)	炭素 換算量 (t/年)	変換・処理 方法	仕向量 (t/年)	炭素 換算量 (t/年)	利用・販売	利用率
廃棄物系	257,089.8	18,051.43		252,713.73	17,537.18		97.2%
水産加工団地	(6,361.8)	(315.79)		(6,107.8)	(304.56)		(96.4%)
動物性残渣	4,641	205.13	飼料化 フィッシュミール化	4,641	205.13	飼料、燃料、 販売	100.0%
植物性残渣	254	11.23	-	0	0.00		0.0%
廃食用油	63.8	45.55	バイオディーゼル燃 料化 等	63.8	45.55	フォークリフト燃料 等	100.0%
余剰汚泥	1,403	53.88	メタン発酵 肥料化	1,403	53.88	発電等団地内利 用、販売	100.0%
生ごみ	19,381	856.64	堆肥化、飼料化 メタン発酵 等	19,381	856.64	農地還元、飼料 発電 等	100.0%
廃食用油	633	451.96	飼料化、バイオ ディーゼル燃料化等	384.93	274.84	飼料 自動車燃料 等	60.8%
下水汚泥	4,454	427.58	メタン発酵 肥料化	4,454	427.58	熱供給、発電等 農地還元	100.0%
し尿・浄化槽汚泥	3,052	292.99	肥料化、ブロック化、 メタン発酵等	3,052	292.99	農地還元、建設 資材、発電等	100.0%
家畜排せつ物	215,425	12,854.41	堆肥化、 メタン発酵等	212,132	12,657.92	農地還元、 発電等	98.5%
建設廃材	5,141	2,263.58	おが粉化 チップ化	5,141	2,263.58	農地還元、畜舎敷 料、ボイラー燃料等	100.0%
製材残材	2,642	588.48	おが粉化 チップ化	2,061	459.07	畜舎敷料 ボイラー燃料等	78.0%
未利用	26,170	7,011.23		11,896	3,359.74		47.9%
林地残材	5,364	1,194.78	おが粉化 チップ化	472	105.13	畜舎敷料 ボイラー燃料等	8.8%
過繁茂竹	1,333	238.02	竹粉化 チップ化	180	32.14	飼料、農地還元、 ボイラー燃料等	13.5%
松葉	162	49.69	温床化 ペレット化等	162	49.69	農地還元 燃料化 等	100.0%
稲わら	16,339	4,677.86	飼料化等	8,416	2,409.50	粗飼料等	51.5%
もみ殻	2,972	850.88	堆肥化等	2,666	763.28	農地還元等	89.7%

※松葉については、平成19年度地域バイオマス発見・活用促進事業の調査結果に基づいた含水率を使用

※稲わら、籾殻の仕向量に働きこみ分は含まない

バイオスタウン構想概要図
(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
事業の概要	